患者向医薬品ガイド

2025 年 3 月更新

タルグレチンカプセル 75mg

【この薬は？】

販売名	タルグレチンカプセル 75mg Targretin capsules 75mg
一般名	ベキサロテン Bexarotene
含有量 （1 カプセル中）	75mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、抗悪性腫瘍剤（抗がん剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、レチノイドＸ受容体に結合し、がん細胞（腫瘍）の増殖を抑えると考えられています。
・次の病気の人に処方されます。
皮膚Ｔ細胞性リンパ腫
皮膚病変を有する成人Ｔ細胞白血病リンパ腫
・未治療の皮膚 T 細胞性リンパ腫に対する有効性および安全性は確立されていません。
・皮膚以外の病変（内臓など）に対する有効性および安全性は確立されていません。
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに飲み続けること

が重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬には、催奇形性（胎児に奇形が生じる可能性）があるので、妊婦または妊娠している可能性がある人には使用されません。
また、妊娠する可能性のある人にも原則として使用されません。

○患者さんまたは家族の方は、この薬の効果や注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意をした場合に使用が開始されます。

○次の人は、この薬を使用することはできません。
・妊婦または妊娠している可能性がある人
・肝臓に重い障害がある人
・過去にタルグレチンカプセルに含まれる成分で過敏症のあった人
・ビタミンＡ製剤を使用している人
・ビタミンＡ過剰症の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・過去に膵炎になったことがある人、膵炎の危険因子がある人
・肝臓に軽度および中等度の障害がある人
・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[ビタミンＡ製剤（チョコラＡなど）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬には催奇形性（胎児に奇形が生じる可能性）があり、また副作用の発現頻度が高いので、副作用について、患者さんまたは家族の方は十分に理解できるまで説明を受けてください。

○妊娠する可能性のある人は次の注意事項について十分に理解できるまで説明を受けて下さい。
・この薬を使用する前の少なくとも１カ月前から、使用している間および使用を中止してから少なくとも１カ月後までは必ず避妊してください。
・次の月経（生理）が始まってから２、３日後まで、この薬を飲み始めることはできません。
・この薬を使用する前１週間以内に妊娠検査を受けて陰性であるとの結果を確認してください。
・この薬を使用している間は定期的に妊娠検査を受けてください。
・この薬を使用している間は経口避妊薬の効果が低下する可能性がありますので、経口避妊薬単独での避妊は避け、別の避妊法を併用してください。

○高トリグリセリド血症などの脂質異常症があらわれることがあるので、この薬の使用前に血液検査が行われます。

○下垂体性甲状腺機能低下症があらわれることがあるので、この薬の使用前に甲状腺機能検査が行われます。

○低血糖があらわれることがあるので、この薬の使用前に血液検査が行われます。

○白血球減少症、好中球減少症、貧血があらわれることがあるので、この薬の使用前に血液検査が行われます。

○肝不全、肝機能障害があらわれることがあるので、この薬の使用前に肝機能検査

が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの体表面積（身長と体重から計算）や、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

１回量	300mg/m²(体表面積)
飲む回数	１日１回食後

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、１回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は１回とばして、次の時間に１回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

高コレステロール血症（自覚症状なし）、白血球減少症（突然の高熱、寒気、喉の痛み）、下痢（腹痛、水のような便が出る、泥状のゆるい便が出る）などがあらわれることがあります。これらの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・妊娠する可能性のある人は、この薬を使用している間および使用を中止してから少なくとも１カ月後までは必ず避妊してください。
・妊娠する可能性のある人は、この薬を使用している間は定期的に妊娠検査を受けてください。
・妊娠する可能性のある人は、この薬を使用している間は経口避妊薬の効果が低下する可能性がありますので、経口避妊薬単独での避妊は避け、別の避妊法を併用してください。
・男性は、この薬を使用している間および使用を終了してから３カ月間はバリア法（コンドーム）を用いて避妊してください。
・高トリグリセリド血症などの脂質異常症があらわれることがあるので、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
・膵炎があらわれることがあるので、持続的な激しい腹痛、嘔吐（おうと）などの急性膵炎の初期症状を自覚したらただちに医師に連絡してください。
・下垂体性甲状腺機能低下症があらわれることがあるので、この薬の使用中は定期的に甲状腺機能検査が行われます。
・低血糖があらわれることがあるので、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
・白血球減少症、好中球減少症、貧血があらわれることがあるので、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
・肝不全、肝機能障害があらわれることがあるので、この薬の使用中は定期的に肝機能検査が行われます。

・光線過敏症（日光のあたる部位に痒みや痛みを伴う発疹や、水ぶくれができやすい。日焼けをした場所が傷痕になったり、色がなかなか消えない。）があらわれることがあるので、この薬の使用中は、外出時には帽子や衣類などで皮膚を覆い、日焼け止め効果の高いサンスクリーンを使用して、日光を避けるようにしてください。
・白内障（視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない）があらわれることがあるので、これらの症状があらわれた場合は眼科を受診してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
下垂体性甲状腺機能低下症 かすいたいせいこうじょうせんきのうていかしょう	疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がり、体重が増える、いつも眠たい、便秘、かすれ声、脱毛
低血糖 ていけっとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
白血球減少症 はっけっきゅうげんしょうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
好中球減少症 こうちゅうきゅうげんしょうしょう	発熱、寒気、喉の痛み
貧血 ひんけつ	体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸（どうき）、息切れ
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

感染症 かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい
間質性肺疾患 かんしつせいはいしっかん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
血栓塞栓症 けっせんそくせんしょう	吐き気、嘔吐、脱力、まひ、激しい頭痛、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ、激しい腹痛、お腹が張る、足の激しい痛み
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
重度の皮膚障害 じゅうどのひふしょうがい	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、全身の発赤、皮膚・粘膜のただれ、水ぶくれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、寒がり、体重が増える、冷汗が出る、けいれん、突然の高熱、寒気、発熱、体がだるい、体がかゆくなる、急激に体重が増える、力が入らない、食欲不振、脱力、まひ、脱力感
頭部	いつも眠たい、脱毛、意識の低下、めまい、頭痛、激しい頭痛
顔面	血の気が引く
眼	まぶたが腫れぼったい、白目が黄色くなる、目の充血やただれ
耳	耳鳴り
口や喉	吐き気、嘔吐、喉が渇く、かすれ声、喉の痛み、血を吐く、咳、唇や口内のただれ
胸部	動悸、息切れ、息苦しい、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ
腹部	強い腹痛、お腹が張る、お腹がすく、激しい腹痛
背中	背中の痛み
手・足	手足のふるえ、足の激しい痛み、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、全身の発赤、皮膚・粘膜のただれ、水ぶくれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
筋肉	筋肉の痛み
便	油っぽい下痢が出る、便秘、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿量が増える、尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

形状	長円形の軟カプセル
色	白色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ベキサロテン
添加剤	ポリエチレングリコール 400、ポリソルベート 20、ポビドン、ブチルヒドロキシアニソール、中鎖脂肪酸トリグリセリド、大豆レシチン

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：株式会社ミノファーゲン製薬
(https://www.minophagen.co.jp/)
製品情報お問い合わせ先
電話：０３－５９０９－２３２２
受付時間：９時～１７時３０分（土、日、祝日を除く）